

## ① 里山林整備について

森林の持つ機能には大別すると、生物保全、地球環境保全、災害防止、水源保全、物質生産機能があると言われている。その環境を維持していくため、本町においても間伐事業など、有害鳥獣被害対策にも有益となる里山林整備事業を実施していく必要があると考える。現在、「ながさき森林環境保全事業」が県において進められているが、今年度、本町においては東高田地区が実施する予定と聞いている。

森林は、人間が生きていく上ではなくてはならない機能を有しているが、現在の整備状況は極めて手薄状態であり、荒廃化が進んでいる。

それが要因となり、民家近くまでイノシシが出没し、農作物の被害拡大などの問題を起こしている。また、本年10月1日には佐世保市の住宅街にイノシシが出没し3人が重軽傷を負ったという事故が起こっており、その脅威は本町も他人ごとでは済まされない状況である。

今後、あらゆる面からの里山林の整備が求められるが、どのように考えているのか、質問する。

- (1) 本町の山林面積は全体の33.7%となっているが、管理・整備状況はどうなっているのか。
- (2) 荒廃した（管理されていない）森林では、有害鳥獣による被害が全国的に問題視されているが、本町においての問題点は何か。
- (3) 今後、森林環境保全のための対策は検討の予定はないのか。

## ② 行財政改革について

今後、予想される人口減少や人口流出などが要因となり、将来の財源確保の見通しは多くの自治体が課題としているところである。本町においても例外なく、財源確保については現段階から考慮しておくべきである。また、第4次長与町行政改革大綱実施計画（H28～H32）において、(5) 財政の健全化の内容は6つの計画がなされており、「実施」となっているが、実際はどうか。1年前、補助金の見直しに関しての質問をしたが、その見直しの進捗状況と、自主財源確保に対する今後の取り組みを伺う。

- (1) 補助金の見直しは金額面も含め、どれほどの効果があったか。
- (2) 自主財源確保の手段として「ふるさと長与応援寄附金」を実施しているが、近隣市町との比較の中で課題は何か。
- (3) 新しい取り組みとして具体的に検討していることはあるか。